

第2回やまなしスポーツエンジン（仮称）設立準備委員会 概要

1. 日時

令和3年7月13日（火曜日）午後2時00分～午後4時00分

2. 場所

山梨県立図書館交流ルーム101

3. 出席者

○ 構成員

中山哲郎、五十嵐雅彦、遠藤俊郎、金子政一、清水正、高原幸次、
田部純一、玉川武年、辻昌彦、土屋淳、内藤裕志、入戸野文隆

※座長以外は五十音順、敬称略

○ 山梨県

スポーツ振興局理事

4. 会議概要

- ・ スマホがそのままプロジェクターになるようなものを開発しているという話も聞いていて、どこでもパブリックビューイングが出来るような技術が出てきている。これまでのような、沢山のお客さんに来てもらって、皆で盛り上がりましょうという状況が変わってきている。
- ・ 今までのスポーツの発想の中で、スポーツだからこうだと決めつけるよりは、少し進んだ考え方でアイデアを集約していけば、山梨モデルになるのではないかなと期待している。
- ・ お金を落とす仕組みづくりをどうするのか、やまなしスポーツエンジンは何をしていくのか。何をもらって稼いだということにするのか、その定義付けをしなければならない。
- ・ 人が集まって良かったではなく、自治体としてどういった経済効果が出ているのかを検証しながらイベントをやっていかなければいけない。
- ・ 何を商品にするのか、誰を対象にしていくのか、例えば県内なのか県外なのか、または訪日外国人なのか、静岡なのか、東京なのか、その辺を絞っていくとスポーツエンジンが将来的に何で稼いでいくかということが整理されていくと思う。
- ・ 観戦や応援に来た人達をどれだけ増やしていくか、その人達にどれだけ快適な環境で周辺の消費を増やしていくかを考えていくのが一つの手と感じた。